


<b>PTA活動紹介</b>		高P連受付番号	1
PTA(学校)名	愛知県立安城東高等学校	部門	ボランティア
活動テーマ	クリーンフェスティバル(環境整備活動)		
キーワード	生徒・保護者・職員の共同作業	環境美化	PTAによる炊き出し
開催日	令和元年11月2日(土)		
場 所	愛知県立安城東高等学校および周辺道路		
時 間	13:30から16:30		
参加者	生徒有志(第1学年、第2学年の参加部活動生徒、環境整備委員、交通安全委員、生徒会執行部) 419名 保護者 34名 本校職員 21名 計 474名		
趣旨	生徒、保護者、職員が一緒になって環境整備活動に汗を流すことにより、参加生徒がボランティア精神を高め、保護者や職員との親睦を図り、相互の信頼関係を養うことを目指す。また、通常の清掃活動でできない校外や、校内であっても時間的に手が届かないプランターの花植え、テニスコート周辺の鬼芝とりなどを行い、学校周辺また校庭の美化を目指す。 活動の後は、秋の風情漂う校庭で、豚汁とお汁粉を皆で頂きながら談笑の時間をもち、本校の一員である喜びを感じる。		
活動ポイント	生徒・保護者・職員が各班に分れ、校内の環境整備活動、周辺道路の環境整備活動を行なう。環境整備活動後、参加者に対し、保護者による豚汁とお汁粉の炊きだしを行なう。		
主体委員会名・講師名等	PTA特活委員会		
活動の内容			
1 校内環境整備活動班 (1) テニスコート周辺整備班・・・鬼芝とり・・・生徒・職員 (2) 樹木剪定班・・・樹木を剪定し、コンテナに運搬・・・保護者・職員・生徒 (3) プランター班・・・花壇や鉢に花植えを行ない、鉢を校内に設置。・・・保護者・職員・生徒			
2 道路環境整備班・・・学校周辺の道路を9の班に分かれて、美化活動を行なう。・・・生徒・職員			
3 炊き出し班・・・約500人分の豚汁、お汁粉を作り、参加者にふるまう。・・・保護者			
4 活動中の写真			
<b>鬼芝とり</b>			
			
メール送信先	<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>		

## 樹木の剪定



## 周辺道路の美化活動



## プランターへの花植え



## 保護者による炊き出し



PTA活動紹介		高P連受付番号	2
PTA(学校)名	愛知県立碧南高等学校	部門	1
活動テーマ	「防災・減災」を年間テーマとした研修活動(防災教育)		
キーワード	防災意識の高揚	年間テーマの設定	地域・先生・生徒を巻き込む
開催日	平成30年9月4日(火)、29日(土)、12月1日(土)		
場所	9月4日本校武道場、9月29日伊勢市防災センター、12月1日本校会議室		
時間	9月4日12時半～15時、9月29日10時半～12時、12月1日10時～12時		
参加者	9月4日先生・PTA会員29名、生徒66名 9月29日先生・PTA会員27名 12月1日先生・PTA会員21名		
趣旨	碧南高校は海岸近くに所在することもあり南海トラフ地震の発生が危惧されており風水害についても年々増加するなど自然災害は私たちが生きていくうえで逃れられないものとなっている。そこでPTAの研修活動を「防災意識を高めよう」というテーマで1年を通して活動を行うこととした。生徒の関わる機会が少ないPTAの研修に生徒を巻き込む事でPTA会員の参加意欲を高めると共に、研修で得た成果を生徒の防災教育にも生かす事で還元できないかと考えた		
活動ポイント	年間を通じた活動テーマを設定して統一感を持たせるとともに、PTAの範囲にとどまっていた研修活動に地域の協力や生徒を巻き込むことで参加意欲を高めることを企図した		
主体委員会名・講師名等	主 催 碧南高校PTA総務委員会 半 日 研 修 講 師 碧南市役所防災課・防災計画係職員 ポリ袋レシピ提供 碧南市社会福祉協議会・碧南防災ボランティア連絡会		
<b>1事前準備</b>			
(1)防災クイズ(解答用紙を含む)及び防災意識に関するアンケートの作成・印刷 (2)ポリ袋で作る非常食レシピ集(13品)の印刷 (3)防災グッズを用いた1日研修会ビンゴ大会の景品づくり (4)身近な素材を用いて作成する防災グッズの作り方ガイドと作成した見本づくり			
<b>2当日の実施内容</b>			
<b>(1)9月4日 碧校祭(文化祭)で防災クイズの実施</b> 碧校祭当日、例年実施しているPTA広報委員会主催のバザー会場の一區画に防災クイズコーナーを設置し、壁にクイズを書いた紙を貼りだして、防災クイズにチャレンジしてもらおうとともに防災意識に関するアンケートを実施した。クイズの点数次第で駄菓子を配ったり、先生やPTA会員にはポリ袋で作る非常食レシピを配布した。			
<b>(2)9月29日 PTA1日研修会</b> 伊勢防災センターと伊勢市消防本部の見学 伊勢防災センターでは、疑似体験ゾーンで消火体験、煙が充満した部屋からの避難体験以外にも、浸水した自動車から脱出、増水した水の中での歩行体験をし、災害の怖さを体感した。また、併設する伊勢市消防本部では、消防指令センターや消防車等の見学を行った。さらに、道中のバス車内では、防災DVDの鑑賞や防災クイズ大会を実施し、ビンゴ大会の景品では手軽に揃えられる防災グッズを景品にするなど、防災にこだわった内容にした。			
<b>(3)12月1日 PTA半日研修会</b> 地震の仕組みや対策に関する話だけでなく、碧南市の防災啓発システム“イノッシー”を使って碧南市の浸水被害の様子を知った。また、碧南市の昔の地図と今の地図を比較して見ることで、昔海だった場所は浸水しやすいということが分かった。さらに、また子どもたちの通学路や学校周辺、碧南市内にお住いの方は自宅周辺の浸水状況や津波の予測をピンポイントで確認できたことは非常に参考になった。講話の後は手作りの防災用品の紹介をしつつ、日用品を用いた防災グッズの製作を行い、楽しみながら学習活動を行うことができた。			
メール送信先	<a href="mailto:info@aichikoupren.org">info@aichikoupren.org</a>		

### 3 防災クイズ及びアンケートの結果

防災クイズの実施結果から、次の質問について正解率が低いという結果が出た(カッコ内は正解率)。

ア これらはすべて必要ですが、大地震のとき最も必要なものはどれでしょう？(7.5%)  
①水 ②カンパン ③懐中電灯 ④携帯ラジオ ⑤のこぎり ⑥医薬品 ⑦十円玉  
⑧スリッパ ⑨笛 ⑩多機能ナイフ

答え ⑨笛:最悪のケース、自分が身動き取れない時に所在を知らせるために重要。

イ 家にいる時に大地震が発生し、自分より体重の重い人が倒れて動けなくなっています。どうやって運び出せばいいでしょう？(30.1%)

①毛布で体全体をくるみ運ぶ ②紐をわきの下に巻いて運ぶ ③ジャンパーを着せて襟を引っ張って運ぶ  
答え ①毛布で体全体をくるみ運ぶ:他の二つの方法は運ぶのに相当強い力が必要

ウ 外にいる時に大地震が起きました。一番正しい避難場所はどこでしょう？(39.8%)

①コンビニ ②ガソリンスタンド ③交番

答え ②ガソリンスタンド:危険物を取り扱うため一般の建物より耐震性・耐火性に優れている。

阪神淡路大震災では、壁など一部破損が見られたものの、倒壊や火災の被害報告はなかった。

また、防災意識に関するアンケートから、自宅近くの避難場所についてはよく知っているものの、実際に被災した場合、家族で集まる場所が決めてなかったり、持ち出すべきものは準備してあるのかなどの備えができていないという点ではまだまだであるということが分かった

PTAとしては、このような状況であることを学校に伝え、防災訓練などの機会に生徒に指導してもらうことで、生徒へ還元できればと考えている。

### 4 バス車内ビンゴ景品について

1日研修でのバス内ビンゴ大会での景品を一部抜粋して紹介する。

商品名	震災時での活用法
LEDネックライト	避難時に両手を開けておくことができる。
マウスウォッシュ	断水時でも口腔ケアができる。
ご飯&親子丼セット	レトルトのご飯や親子丼・カレーセット。非常食としては賞味期限が短い、レトルト食品
ご飯&カレーセット	は幅広い味があり、飽きずに食べることができる。
サララップ	断水時お皿にはって使用し、使い終わった後ラップを捨てれば水を使わずに済む。
除菌ウェットティッシュ	断水時の手洗い、テーブルや気になるところを拭くことができる。
ポリ袋(小)	ポリ袋レシピで使用したり、炊き出しの食べ物や汁物を運ぶこともできる。
※ポリ袋レシピに使用するポリ袋は、専用の物が高密度ポリエチレン(HDPE)の物を使用する。 高密度ポリエチレンの特徴は熱に強いことで、一般的におよそ110℃ぐらいの熱に耐えられる。	

### 5 まとめ

1年を通して活動を行うことで、意識調査・防災施設見学・疑似体験・防災グッズ紹介・碧南市の被災予測など様々な角度から防災・減災について学ぶことができた。

例年の活動になかった、生徒との関わりを持つこと、地域の協力を得ることができたことに加え、碧南市の防災活動の取り組みなどを直接聞く貴重な時間を得ることができてよかったと思う。

また全行事において、防災について繰り返し学ぶこと、「ポリ袋で作る非常食レシピ」を配布することにより少しでも「防災・減災」について考える機会ができたのではないかと考えている。

なお、「テーマ性を持った研修活動」についても継続を図り、今年度は「スマートフォンの使い方」をテーマに研修活動を行っている。

碧高祭でのクイズ大会の様子



伊勢市防災センターでの体験学習



半日研修会の様子



手作り防災用品



イノッシー



防災グッズ制作